

「(仮称)流域の声をうかがう会」の開催方法について

(1) 開催日時及び会場

上流域：平成 15 年 5 月 17 日(土)午後 山崎町 山崎防災センター

中流域：平成 15 年 5 月 18 日(日)午後 龍野市 西はりま青少年館

下流域：平成 15 年 5 月 11 日(日)午後 姫路市 網干市民センター

(2) 事前意見募集の結果

意見募集結果

「(仮称)流域の声をうかがう会」への事前意見募集の結果(4月3日現在)

居住地	意見発表を希望	傍聴を希望	参加不参加が不明	計
波賀町	1			1
一宮町			1	1
山崎町	1		1	2
安富町				0
新宮町	1			1
龍野市	2	4	2	8
揖保川町		1	1	2
太子町	2	2	1	5
姫路市	1	3	2	6
御津町				0
住所不明			4	4
意見不明瞭			1	1
計	8	10	13	31

(詳細は、参考資料を参照)

意見発表者、傍聴者の意見のポイント

山崎会場

意見発表希望者の意見（3名）

- ・上流の森林は魚の育成に重要。川沿いの大きな木は切らずに残すべき。
- ・山崎町十二波の浜御殿跡の石積み、桜や柳の木、竹藪を保存してもらいたい。
- ・河川改修により、集落のシンボリックなサクラ、オニグルミ、ネコヤナギ、ヨシ群落等が取り除かれ、植物が一つもない川が造られている。魚つき林的な河川空間にするべき。
- ・揖保川を環境学習の場とするべきだが、大人からの押し付けがましい教育は、ためにならない。子供の自主性、自発性を大事にすべき。

傍聴希望者、その他波賀町、一宮町、山崎町在住の方の意見

- ・ダムは絶対に反対である。
- ・上流の生活を破壊して下流が助かるのはよくない。
- ・分流、支流や地下水路等も考えるべき。
- ・中州のヨシが茂っている所は、一年に一回くらいは刈り取ってほしい。

龍野会場

意見発表希望者の意見（4名、内1名は会場未定）

- ・水量が減っている原因は何か。昔のように舟運を復活させられないか。
- ・最近整備されているグラウンドや公園は、川に合っておらず、利用者も少ない。もっと川らしい公園にしてもらいたい。
- ・今の揖保川が昔の揖保川から失ったものを徹底調査し、取り戻すことが可能なものは実行してほしい。
- ・とりわけ土に触れて暮らす人々の考えを聞き出すべき。
- ・揖保川の魚類は昔と比べて種類が変わっており、鳥の種類も増えている。

傍聴希望者、その他新宮町、龍野市、揖保川町、太子町在住の方の意見

- ・百年に一回の根拠をどのように計算したのか説明してほしい。
- ・パンフに「上流に新たにダムをつくり・・・」とあるが、引原ダムの洪水調節をするのか、または調節せずに別計画とするのか。（質問）
- ・どうせお金を使うのであれば、川上の保水率を高めることに、もっと力を注いでほしい。

- ・揖保川は親水河川部分が少ない。まちづくりには水遊びの場所が大切であり、火災の場合の用水にもなる。
- ・揖保川の流量は減っている。水道水、内水面漁業のことを考えると、水源となる山の荒廃が気がかりである。国は直轄区域外のことも考えてほしい。
- ・河口から13km付近の中州を取り除いてほしい。
- ・建物を増やさず、田畑を守るべき。
- ・河床の雑木を切る必要があるのではないか。
- ・家庭で個人的に可能な水質改善に取り組むべき。
- ・川岸が整備されずに、ごろた石と藪で覆われていた昔が懐かしい。今はゴミや犬の糞も多く、釣り客が増えて子供に鮎とりをさせるのに気が引ける。
- ・揖保川はどんどん整備されてきれいになっていくが、きれいでいいのかどうか疑問に思う。あるがままの自然を生かした整備が望ましい。
- ・水辺プラザ整備地区の河川敷内の雑木林は残してほしい。
- ・子供達が素足で入って遊び、魚や水生昆虫などを捕まえ観察できる場所を造ってほしい。
- ・計画は、これから利用する若い人や子供達の意見をもっと取り入れたものにしてほしい。
- ・龍野、網干付近は改修が進んでいるが、その中間の林田川合流点付近は洪水、景観ともに問題がある。
- ・洪水被害は減少しているが、かつて汚水による公害は毎年発生していた。高齢者は体内に蓄積した薬害のためか、死亡率が高いように思う。
- ・林田川の表流水だけでなく、地下水、土壌の汚れ等の報告ができないか。
- ・林田川の網干～太子間は、土手の菜の花摘みを毎年楽しみにしているが、だんだん整備されて菜の花が減り、ショックを受けている。毎年の楽しみを保存してほしい。
- ・地域住民の多くは、河川整備に関心が薄い。県民局、教育委員会、河川と関わる団体等にもPRすべき。

網干会場

意見発表希望者の意見（1名）

- ・まちづくりにあたり、水に親しみ、自然とふれあう関係を取り戻したい。
- ・終末処理場から放流される処理水の水質が悪いため、稚エビ、稚貝が育たない。
- ・家庭で個別に水処理をして川に戻せば、水量の減少を抑えられる。

- ・工業用水の利水権量の見直しが必要。
- ・河口部や中州では、畑の井戸から塩水が出てきた。

傍聴希望者、その他姫路市、太子町（網干会場傍聴希望）在住の方の意見

- ・工場からの排水、農畜産からの排水、家庭排水等の汚染物質の垂れ流しにストップをかけるべき。
- ・昭和35年頃の中川は“ナゲ”という石組みの美しい景観があり、大小多種の魚貝類が棲んでいた。川や海は子供達のやすらぎの場であり感性を養う場でもある。
- ・戦後の大改修のおかげで安全になった反面、昔の環境がなくなったのは失敗。次の世代は、両面を充実させた河川整備が我々に残された責任である。
- ・人間味のある環境、常に水が流れる川を取り戻したい。
- ・河口域に堆積するヘドロのため、養殖は勿論、渚からの立入も禁止されている。潮干狩りや海水浴の楽しみは考えられない。ヘドロを除去し、一日も早く昔の網干沖に復旧してほしい。
- ・中川橋下流東岸の汚染問題はどうなっているのか。具体的な数値は出てきていないので、公表してほしい。
- ・河川敷にある草原やブッシュは、野鳥や野生生物のために重要な場所なので、広い範囲で手を付けずに残してほしい。
- ・揖保川の美しさを保つためにヨシを保存してほしい。
- ・川岸は、小魚が棲みやすくし、子供が川にはまっても這い上がれるようにしてほしい。

(3) 会の運営手順《検討事項》

会の基本的な進行スタイル

<u>次 第</u>	<u>発言者・進行役</u>
1. 開会	委員会庶務
2. 委員、河川管理者の紹介	委員会庶務
3. 揖保川流域委員会からの報告	藤田委員長
4. 住民の方々からの意見発表	事前に申し込まれた方 及び、当日希望される方
5. 意見発表に関する質疑応答	委員、河川管理者、発表者
6. 参加者による意見交換	全ての参加者
7. まとめ	藤田委員長
8. 閉会	委員会庶務

各会場の意見交換のテーマ（案）

上流・山崎会場

- 1) 河川改修と自然植生・景観・歴史資産との調和
- 2) ダムによる洪水調整とその代替策
- 3) 水源林の保全
- 4) 学習の場としての河川空間のあり方

中流・龍野会場

- 1) 龍野市内における河川改修のあり方（引堤事業、畳堤など）
- 2) 望ましい河川敷の整備のあり方（親水施設、自然環境・景観の保全、親水・学習の場としての整備、河畔林の管理など）
- 3) 林田川の問題
- 4) 参加と協働による川づくり（河川整備、河川敷管理等）の進め方

下流・網干会場

- 1) 揖保川の流量の維持
- 2) 河口域の環境保全
- 3) 下水処理水、地下水、工場等排水の水質問題

意見発表者の確保

- 1) 意見募集に対する回答者への、意見発表の働き掛け
- 2) 揖保川流域で活動を実施している団体への働き掛け
- 3) これまでに委員会に参加された傍聴者への働き掛け

傍聴者（参加者）の確保

- 1) 参加者が増える集会の運営のあり方
 - ・ 集会の名称
 - ・ プログラム、進行手順
 - ・ イベント、展示等の取り入れ
- 2) 自治体への協力要請（自治会長会等への働き掛け等）
 - ・ 自治会、婦人会、老人会、子供会等への呼び掛け

委員の役割分担

- 1) 各分科会からの参加
- 2) 複数会場への参加
- 2) 委員からの話題提供